

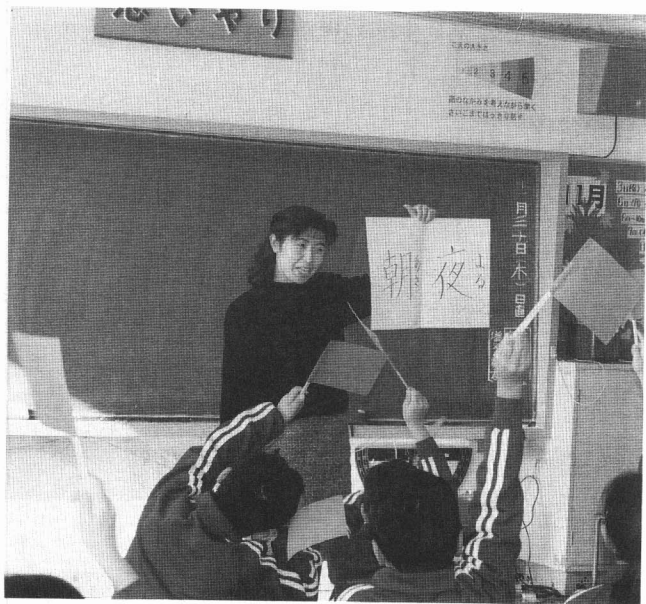
## V 研究の成果と課題

本年度は、「学級の好ましい人間関係づくり」を図るために、順応児童生徒をピックアップして、構成的グループ・エンカウンターを中心に実践してきた。

特に、構成的グループ・エンカウンターを、校種や児童生徒の発達段階を踏まえるとともに、はじめて取り組む学級担任でもできるように工夫して実践した。その結果、児童生徒は積極的に演習に参加して、順応の児童生徒をはじめとして自己理解や他者理解が深まり、学級の好ましい人間関係づくりが進んだ。

また、研究協力員全員が、研究の過程で児童生徒観に変容が見られ、本研究の前提にしておいた「教師と児童生徒の信頼関係」の大切さを実践を通して気づいたのも成果であった。

来年度は、本年度の成果を踏まえ、「学級で互いのよさや違いを認め合える人間関係づくり」の研究を進めていきたい。



### 〈研究協力員〉

小学校	佐久間悦子	佐藤 陽子
中学校	管原 克章	中瀉 宏昭
高等学校	諏佐 一夫	本田 伸良

### 〈参考文献〉

- エンカウンター  
—心とこころのふれあい—  
国分康孝著（誠信書房）
- 構成的グループ・エンカウンター  
国分康孝編（誠信書房）
- 教師と生徒の人間づくり  
エクササイズ実践記録集 第1～4集  
国分康孝監修（瀝々社）
- 新版学級経営実践マニュアル  
—教室はよみがえる—  
手塚郁恵・刀根良典著（小学館）
- いじめと不登校の社会学  
—集団状況と同一化意識—  
竹川郁雄著（法律文化社）
- 「学校適応への援助と指導」  
平成3年度北九州市立教育センター研究紀要
- 「学校生活に適応できる児童生徒の育成と援助」  
平成4年度前橋市教育研究所研究紀要
- 「望ましい学級集団の形成を図る環境条件の改善に関する研究 —児童生徒一人一人を生かす人的環境の在り方を中心に—」  
平成3年度岩手県立総合教育センター研究紀要